

崩れた遊歩道を視察する参加者ら＝うるま市津堅島のキャロット愛ランド遊歩道



津堅の良さを探そう

うるま市
島おこし事業

住民と専門家が調査

【うるま】地域振興の支援やコンサルティングを行うカルティベイト（開梨香社長）はこのほど、島の現状把握と今後の発展のための「島あつちやーwithなんでもお助け隊」をうるま市津堅島で実施した。住民やうるま市職員、島の振興に関わる各分野の専門家ら、約60人が施設、自然、文化、環境美化の四つのグループに分かれて島内を歩き、長所と問題点を調査した。

違法ごみなど課題も

「島あつちやー」は市き出して意見を交換。整の「津堅島島おこし支援備さず荒れている遊事業」の一環で、市がカルティベイトに委託した。開社長は「これまで行政と島の人たちとの意見交換が十分なままに事業が行われてきたこともあったと思う。今後島おこしを進めるために、島の人たちの求めを聞くところから始め、彼らが自分たちから動くように働き掛けていきたい」と語った。

参加者は島内を歩いて見回った後に公民館に集まり、問題点や長所を書

島で自転車レンタル店を営む東堅一さん(65)は「地元に住んでいてもなかなか足を運ばない場所に行けた。あらためて島のことを考えるきっかけになった」と話した。うるま市企画部の伊勢要主事は「押し付けではない形で行政として協力していきたい」と述べた。